

施策評価管理シート

2022(令和4)年6月作成

施策体系	政策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	5	快適な生活環境づくり		
	施策	2	道路整備	都市整備部	谷本 浩司

1. 施策の基本方針(目指す将来像)



- 今後の人口減少、高齢社会の進展など、多様化する道路交通需要に的確に対応するため、ユニバーサルデザインを基本とした計画など、道路空間の質の向上を進めます。
- 幹線道路のネットワーク化による代替機能の向上と広域道路網の整備を進めます。
- 地域のまちづくりの取組と連携した維持管理や事業の選定を進めるとともに、事業効果の検証を行いながら生活道路の整備を進めます。

2. 令和3年度の実施内容及びその成果



- ・ 自歩行者の安全で安心、快適な歩行空間を創出するため、ユニバーサルデザインに基づく歩道整備を実施しました。また、快適で安全な歩行性を確保するため市内幹線道路の舗装補修を実施しました。
- ・ 名阪国道へアクセスし広域的な地域の連携による経済・社会活動を実現する国道368号の4車線化やその他の県道バイパス事業について三重県と協働し整備の促進を図りました。
- ・ 生活道路の管理については、除草作業や原材料支給による軽微な修繕など地域と連携し取り組みました。また、効果的な整備手法による局部改良等の工事を実施し、快適で安全な道路環境の取り組みを実施しました。

3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	進捗率
市内の道路整備が進み、移動しやすくなったと感じている市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	50.0	
	成果	41.8	48.1	44.8	50.7	48.9		86.6%
計画期間内道路整備延長(%)	目標	-	-	-	-	-	50.0	
	成果	26.7	26.7	33.2	36.6	40.5		59.2%
地域づくり組織等が主体となって、道路等の維持管理に携わっている箇所数(件)	目標	-	-	-	-	-	73	
	成果	66	64	65	64	66		0.0%

4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



- ・ 自歩行者の安全・安心を確保し快適な歩行空間を創出するため既存歩道の面的な整備や歩道・歩行帯の新設、また、車輻の快適な歩行性を確保するため、歩車道とも危険度の高い路線を最優先に整備を進める必要があります。
- ・ 広域的な道路整備には多大な予算の確保が必要であり、厳しい財政状況が続く中においては引き続き、早期に事業効果が発現出来る整備区間の選定や整備手法の検討が必要となります。
- ・ 生活道路の維持・管理については、引き続き地域と連携し取り組んで行くものの、地域の高齢化等により担い手不足の地域も多いことから、地域の実情に応じた対応が必要となってきます。また、局部的な道路改良についても真に必要な整備かどうかを見極め、有益な効果が発現する整備を優先する必要があります。

5. 分析結果を踏まえた施策の実施内容(令和4年度以降)



- ・ 自歩行者の安全確保や安全で快適な車輻走行を実現するため、国の交付金を有効活用し継続的に取り組んでいきます。
- ・ 国道368号をはじめとする市域国・県道整備について、早期効果が発現するよう引き続き三重県と協働し取り組みます。また、遅滞していた市内ネットワークを構築する幹線道路の早期完成に向け整備を進めていきます。
- ・ 地域と連携し取り組んでいます生活道路の維持・管理については、地域の高齢化を踏まえた維持管理方針について検討を行います。また、局部的な道路改良等についても地域の実情も配慮しつつ優先度の検討を行います。

施策を構成する主な事務事業

*R3決算額が事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています（施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます）。

*R4予算は、R4.4.1時点での金額を記載しています。（R3からの繰越額含む。）

*R4予算のみ金額が記載されている事務事業（新規事業）は、R4の事業内容（計画）を記載しています。

単位：千円

会計	事務事業名	部局名	室名	令和3年度内容	R3決算額 (見込)	うち 一般財源	R4予算額
一般	一般市道整備事業（維持管理室分）	都市整備部	維持管理室	地域内生活道路の局部改良や道路側溝等の整備について、既存道路を活用しながら計画的に実施しました。 ・土質調査委託ほか 3件 ・側溝整備ほか工事 9件 ・小規模工事 95件	45,776	5,006	9,700
一般	一般市道舗装事業	都市整備部	維持管理室	生活道路の安全性向上を図るため、計画的かつ効率的に道路舗装補修を実施しました。 ・舗装補修工事 15件 ・緊急対応補修 74件 ・共同施工工事 5件	73,873	15,773	74,000
一般	社会資本整備総合交付金事業（道路舗装）	都市整備部	維持管理室	社会資本整備総合交付金事業を活用し、既存道路の安全性向上を図るため、計画的な舗装工事を実施しました。 ・市道青蓮寺名張線 L=203m	17,649	34	0
一般	社会資本整備総合交付金事業（道路舗装）＜令和2年度繰越分＞	都市整備部	維持管理室	＜令和2年度繰越分＞ ・市道つつじが丘北南線 L=236m ・市道すずらん台4号線 L=138m ・市道青蓮寺名張線 L=48m	37,150	0	0
一般	道路メンテナンス事業	都市整備部	維持管理室	国の道路メンテナンス事業補助制度を活用し、橋梁の老朽化対策として点検結果を踏まえ策定される橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的に修繕を実施しました。 ・橋梁点検 72橋 ・詳細設計 1橋 ・橋梁修繕 5橋	57,490	70	10,131
一般	道路メンテナンス事業＜令和2年度繰越分＞	都市整備部	維持管理室	＜令和2年度繰越分＞ ・橋梁修繕 2橋	11,857	0	0
一般	一般市道整備事業（道路河川室分）	都市整備部	道路河川室	地域内生活道路の局部改良や道路側溝等の整備について、既存道路を活用しながら効果的に実施しました。 ・市道改良 12路線	23,681	1,981	54,703
一般	一般市道整備事業（道路河川室分）＜令和2年度繰越分＞	都市整備部	道路河川室	＜令和2年度繰越分＞ ・市道改良 3路線 ・測量設計等 5路線	28,804	1	0
一般	社会資本整備総合交付金事業（道路新設改良）（道路河川室分）＜令和2年度繰越分＞	都市整備部	道路河川室	国の社会資本整備総合交付金制度を活用し、既存道路の利便性・安全性向上を図るため、計画的に道路整備を実施しました。 ＜令和2年度繰越分＞ ・市道改良（2路線）	25,600	50	0

施策を構成する主な事務事業

*R3決算額が事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています（施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます）。

*R4予算は、R4.4.1時点での金額を記載しています。（R3からの繰越額含む。）

*R4予算のみ金額が記載されている事務事業（新規事業）は、R4の事業内容（計画）を記載しています。

単位:千円

会計	事務事業名	部局名	室名	令和3年度内容	R3決算額 (見込)	うち 一般財源	R4予算額
一般	一般市道整備事業（用地対策分）	都市整備部	用地対策室	地域内生活道路の局部改良や道路側溝等の整備を実施し、既存道路を活用しながら計画的に実施しました。 ・市道檀青蓮寺線路側整備事業 手数料 405千円 用地費 58千円 ・市道家野本線道路改良事業 委託料 1,124千円 ・市道赤坂夏秋橋線道路改良事業 補償費 155千円 ・市道新田南古山線道路改良事業 補償費 2,404千円 ・市内公有地除草作業 委託料 545千円	4,746	1,016	28,118
一般	一般市道整備事業（用地対策分）＜令和2年度繰越分＞	都市整備部	用地対策室	＜令和2年度繰越分＞ ・市道赤坂夏秋橋線道路改良事業 手数料 41千円 ・市道新田南古山線道路改良事業 手数料 176千円 委託料 2,587千円 補償費 6,090千円 ・市道檀青蓮寺線路側整備事業 委託料 794千円	9,692	292	0
一般	社会資本整備総合交付金事業（交通安全施設整備）（用地対策室分）	都市整備部	用地対策室	通学児童の安全で快適な通行を確保するため、通学道路を整備しました。 ・市道新田南古山線道路改良事業 補償費 545千円 用地費 585千円 ・市道檀青蓮寺線路側整備事業 用地費 270千円	1,399	10	3,352
一般	社会資本整備総合交付金事業（交通安全施設整備）（用地対策室分）＜令和2年度繰越分＞	都市整備部	用地対策室	＜令和2年度繰越分＞ ・市道新田南古山線道路改良事業 補償費 2,950千円	2,950	7	0